



平成30年度 中津川市立付知中学校 学校経営構想

【中津川市の方針】

「よりよいひとりだち」

生活・学習における基礎基本の習得とたくましい子の育成

【学校の教育目標】

豊かさ……確かな学力・実践力を身につける
厳しさ……自らを律し、生活をつくりだす
たくましさ……明るくのびのびと切磋琢磨できる

【校訓】

自主人格

明るい生徒・考える生徒
規律・責任・自立

【目指す学校像】

夢や可能性を目指して(生徒も教師も)仲間と切磋琢磨しながら自らの力で歩み出す付知中

【合い言葉】

明るく…生徒の笑顔と声のあふれる学校
爽やか…失敗を恐れず直向きで潔い生徒

【指導の重点】

個の高まりを実感できる
授業づくり

伝える声・聞き分ける耳

- 1 学び合う姿のある授業
 - (1)「自分の考え」を持たせる授業
 - ・「聞けていない生徒」「わからない生徒」に気づき、考える手立てや時間のある授業。
 - ・「拳手してないけどどこがわからないの?」「あなたの思いをしりたいな」。
 - (2)学び合う、対話のある授業
 - ・「対話」を意図的に仕組む授業。
 - ・「どうしてそう思ったの?」「AさんとBさんの違いは?」「Cさん、Dさんの発言をもう1回話して」。
- 2 習得した知識や技能を確実に身につける見届け
 - (1)「確かな見届け」の工夫(評価)と確実な実施。(一点突破の実施)
 - (2)低位生徒(平均点1/2以下)への個別支援の充実。(学テ8%以下)

規律と温かいつながり
のある生活づくり

安心できる
「歌声・あいさつ・表現」

- 1 「付知中目指す生徒像」に徹する生徒会運営
 - ・「目指す生徒像」を活動の基板として計画・実施することで、自治の意識や自ら動き出す力の育成。
 - ・リーダーとフォロワーを育て、「呼应」の意識と実践力の向上。
 - ・「これでいいのか」「それでいいのか」「これでいいんだ」。
- 2 夢や可能性を追求する学級経営
 - ・なりたい自分に向け「夢や可能性」を追求する一人1役の見届け。
 - ・仲間の「個のよさや頑張り」を見つけ評価し価値づける心の耕し。
 - ・目的を持って企画し、任せることによる実践力の育成。

「居場所と絆」のある
安心・安全な学校づくり

笑顔と「ありがとう」

- 1 差別意識の撲滅と人権尊重
 - ・いじめ、不登校の未然防止と早期発見・対応のできる教師、組織。
 - ・「ひびきあい集会」を核に年間を通して、人権について学ぶ機会の計画・継続的な実施。
 - ・頑張っている仲間の足を引っ張るような行為への毅然とした指導と対応。
- 2 積極的な生徒指導
 - ・自己肯定感、自己有用感を育てる教師の声がけと認め。

【指導の基盤】

■ねらいと活動を明確にした5期毎のPDCAの推進

- ①核になる行事とそれに関わる取組の明確化
- ②全校でのつながりのある学級の動きづくり
- ③中間職員会をCとしたPDCAの活性化
- ④生徒会の活動と連携した5期の活動

■運営参画と指導体制の強化

- ①願いと見通しとある提案(重点と評価基準の明確化)
- ②実効性のある指導計画・経営案の作成と実践
- ③組織と会議システムの機能の向上(2回の指導部会)
- ④授業力・生徒指導力向上のための研修の充実

【チーム付知中の職員集団】

「あなたが大切だ」「あなたがいないと困る」というメッセージを届け続ける職員集団

- (1)明るく爽やかに生徒の前に立つことを、常に大切にす。
- (2)生徒の「言葉」と「心」に耳を傾け、常に高いアンテナを持ち、気になる言動に迅速に対応する教師。
- (3)常に研究や研修に励み、自信を持って生徒の前に立つ教師。
- (4)「チーム付知」の一員として、一枚岩で指導にあたる教師。
- (5)自らのアイデアを提案・共有し、よりよき生徒の姿を目指し手を繋ぎ、学校全体が一つの渦となり指導にあたることのできる教師。
- (6)保護者や地域の方と良好な関係を持ち「地域の学校」としての信頼を高める教師。